



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校

学校便り No. 7

令和6年 5月28日

文責：校長 齋藤和彦



～いいなあ 薫の子～ 精一杯がんばる姿..

運動会「紅白応援合戦」の子ども達の姿。応援団長のリードに、紅組・白組それぞれに“ひとつのこと”に向かって本気になる。～拳を高く「おおー!」。応援団旗の動きに一致団結して呼応する応援ウェーブのまとまり。本気度が誰もの顔つきに表れます。

6年生の応援モデル動画を給食時に視聴して、全体練習はたったの2回。(先輩の懸命の姿が、下級生の本気を引き出した結果です)～開閉会式代表児童のはきはきとした口調や清々しい返事や動作は、きっと、“ぼくも私も..指揮台の上でカッコよく代表になってみたい!”下級生は、こんな“あこがれ”を抱いたに違いない。(薫小の伝統は、こうして繋がっていくことを確信しました)

保護者の皆様には、演技進行中の急なお願いにも関わらず、強風事故回避のためのテント屋根撤収作業に多数ご協力いただきましてありがとうございました。



数年ぶりの校庭開催でした。観覧のお願い(優先観覧等)や終了後の片付け作業に積極的に協力いただきましてありがとうございました。

早朝よりご協力いただいた、PTA三役の皆様、厚生委員会の皆様、広報委員会の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。



ぼくの・私の「1等賞!」 ～今日..あちこちで取材～

『運動会は、やっぱり“1等賞”をめざしましょう!』～徒競走の1等賞はもちろんうれしいですが、“自分だけの1等賞”があります。
・転んでも最後まで走った“1等賞!”
・がんばった友達を応援し続けた“1等賞!”
・係活動をやり遂げた責任感の“1等賞!”
・今日の運動会をがんばりぬいた“1等賞!”
～薫の子一人ひとりの胸に、それぞれ特大の1等賞が輝く運動会になることを願います。

Q【運動会で、あなたの1等賞は何ですか?】



- 応援合戦をがんばったこと。
- 練習では5位だったけど一人ぬかして4位になりました。
- お父さんから1等賞を聞きました。それが何かは秘密です。
- 楽しかったから1等賞です。
- 4年で本当の1等賞になる!
- 母に最高だったよとほめられた。
- 礼が100万点!だったこと。

保護者ご家族の皆さんからは、どのようなこの日のお子さんの“1等賞!”(がんばったところ)を伝えていただけたでしょうか?

『森の五重奏団』音楽鑑賞会 (6/13.14)

学校創立69周年に伴い、文化芸術による子供育成事業を実施します。演奏者には薫小卒業生の先輩も来られます。学年ごとに計6回の演奏です。



◆◇ 校長室より 「薫小学校の強み(魅力)を活かして..」 ◇◆

不安なとき 抱きしめてくれる人がいれば、安心できる
不満なとき 一緒に理解してくれる人がいれば、心は満たされる
不便なとき 手を差し伸べてくれる人がいれば、便利は生まれる
～ひとの世の「不」を解消できるのは、「ひと」でしかない
～あなたの「不」は何ですか? 次の「不」は何だろう?

(※ だいぶ前の某化粧品会社のCMです) わずか15秒の企業CMの中で、心地よい言葉のリズム感に加えてほっとするメッセージ性が伝わるCMでした。(私は化粧品は使わないけど)

本校の強み(長所/よさ/自慢/魅力..)は、子ども達の「やわらかな人間関係」「やさしい関係性」「相手を思いやることのできる関係」これらが、どの教室にも..授業の中にも..諸行事運営にも..(※先日の運動会の中に魅えることができた子ども達の姿にも)みられることであると考えます。学校生活の中には、得意なことや楽しいことばかりではありません。

それぞれに不安や不満、不便、不得意、不機嫌..「不」も当然あります。でも、それらを解消してくれる「ひと(友だちや先生)」の関係性があることです。

